

第46回日本救急医学会総会・学術集会：プレコンgressセミナー
厚生労働省委託事業「平成30年度実践的な手術手技向上研修事業」

『**献体による外傷手術臨床解剖学的研究会**』特別開催の受講者・見学者公募案内

ご遺体を使用した手術手技向上のための研修（「実践的な手術手技向上研修事業」）が、厚生労働省の委託事業として実施されます。全1日間の日程で、a)基本手技 b)胸部外傷 c)血管外傷 d)腹部・骨盤外傷 e)四肢外傷 に対するアプローチ・修復手技を学ぶ内容です。

今回、第46回日本救急医学会総会・学術総会開催に併せ、11月14日（水）に、委託先である東京医科大学 救急・災害医学分野から、日本救急医学会 会員を対象とした受講者および見学者の特別公募のご案内です。

※ この日以外にも専門医要件を含む学会公募がありますが、そちらは別に案内致します。

開催日程： 11月14日（水）

研究会会場：

東京医科大学 人体構造学分野 解剖実習室

〒160-8402 東京都新宿区新宿6-1-1（東京医科大学病院とは場所が異なります）

受講費：12000円 *受講費は、ご献体の火葬費・棺代に対する費用です。食事代、宿泊費、交通費は含みません。

見学費：無料

公募期間： 平成30年10月1日（月）～10月14日（日）

受講者条件（6名を公募します）：

- 1) 日本の医師国家資格を有する、医師経験年数10年以下（医籍登録2009年以降）の者
- 2) 日本救急医学会 会員であり、かつ同学会社員（評議員）の推薦があること
（※ 評議員は、自身の所属施設外の医師を含め複数者の推薦を可能としますが、1施設からの推薦は1名までにしてください。）
- 3) 本特別公募については、専門医の有無は問わない

見学者条件（上限20名までを公募します）：

- 1) 日本の医師国家資格を有する者
- 2) 日本救急医学会 会員であり、かつ同学会社員（評議員）の推薦があること
（※ 評議員は、自身の所属施設外の医師を含め複数者の推薦を可能としますが、1施設からの推薦は1名までにしてください。評議員の自薦も可能です。）
- 3) 全日参加すること

注) 受講者1名と見学者1名が、同施設になることは認めます。受講者・見学者共に、過去に本研究会への参加歴がある方は、ご遠慮下さい。

参加希望者は10月1日～10月14日に、次ページの応募用紙の全項目に記入の上、下記宛に

FAXで応募して下さい（e-mail不可）。FAX到着後に受け取り通知をe-mailにて返信致します

（2週間以上経っても返信が無い場合は下記連絡先までお問い合わせ下さい）。なお、希望者多数の場合、抽選での受講決定となることをあらかじめご了承ください。

※問合せ先：東京医科大学 救急・災害医学分野 tel: 03-3342-6222 内線 5781

FAX送信先：東京医科大学 救急・災害医学分野 研究会担当者 本間 宙（ヒロシ）

FAX： 03—3342—5687（救急・災害医学分野 直通）

※個人情報の取扱いに関しては、
当方で十分に留意致します。

- ・記入日：
- ・応募者氏名：(印字または楷書)

応募者氏名 (応募者自筆署名をお願いします)：

- ・卒業年(西暦)年 医籍登録(西暦)年
- ・所属施設・部署・役職：

・連絡先 (e-mail address は必須 → 誤りを防ぐため印字をお願いします)：

- ・日本救急医学会の入会年(西暦)年
- ・専門医・指導医を有する先生は、下記に列記して下さい (専門医・指導医有無は参加必須条件ではありません)

・参加希望別 (どちらかに○を付けて下さい)
受講者 () 見学者 ()

・評議員の推薦

上記の者が、東京医科大学『献体による外傷手術臨床解剖学的研究会』に参加応募することを推薦します。

施設・部署名：

役職名：

評議員所属学会名：日本救急医学会

評議員氏名 (評議員自筆署名をお願いします)：

・以下に、応募の動機や理由を記載して下さい。

FAX： 03—3342—5687 (救急・災害医学分野 直通)